

事業の概要

1 常設展示

常設展示を構成する資料

区分	実物資料 及び標本類	ジオラマ機器 模 型 類	カラー透視 写真及び写真	図 板	計
地 学	457 点	29 点	7 点	33 点	526 点
生 物	943	89	49	36	1,117
歴史・民俗	686	29	68	45	828
美 術	478	—	—	4	482
合 計	2,564	147	124	118	2,953

(1) 地学・生物展示室 (515㎡)

<地 学>

- 本県の地形と地質の全貌と特徴を各種の模型で展示。
- 郷土の生いたちについて岩石や化石などによって解説。
- 本県及びその周辺で産出した化石と各地質時代の化石（三葉虫、アンモナイト、タルボサウルスほか）の展示。ナウマンゾウの全身骨格（模型）とゾウの進化に関するコーナーを設置。
- 古生物を中心にした各地質時代の景観得元ジオラマ7景。
- 本県で産出した有用鉱物を中心として、基本的な鉱物（水晶、方解石、ザクロ石、黄鉄鉱等）を展示。
- 温皇泉地下地質と湧出する機構を示す模型の展示。
- 紫外線の照射による蛍光鉱物の発光実験。
- 各種ウラン鉱の展示と放射能測定の実験。
- 砂丘と大山の地質的特徴とその生成発達を解説展示。
- 人類の進化についてレーザーディスクによって解説。

<生 物>

- 大山と砂丘の生物の垂直分布や水平分布の状態とその特性を解説展示。
- 岩礁の生物と生態と分布を解説展示（ジオラマ）。
- 中国山地の代表的な植生景観と動物の生態展示（ジオラマ）。
- 頭足類、甲殻類、魚類の分類と生態を解説展示。
- ハチュウ類の分類展示。
- 両生類の分類展示。オオサンショウウオの発育過程と飼育の展示。
- 池の生物の生態展示（ミニジオラマ）。
- 水生小動物の飼育展示。
- 鳥類の生息環境による分類と生態を解説展示。
- 哺乳類の分類展示。

- 山陰沿岸の貝類の分類と生態を解説展示。
- 昆虫の生活様式による分類と生態を解説展示。
- 郷土の植物の分類展示。
- 樹幹とキノコの生態展示。
- 動物の行動や植物の生育環境をレーザーディスクによって解説。

<自然資料紹介コーナー>

- 春の植物 平成4年3月23日～5月10日
- 火 山 ― 生きている地球の証 平成4年5月12日～6月14日
- は 虫 類 平成4年6月16日～7月26日
- 熱帯産のカブトムシとカミキリムシ 平成4年7月28日～9月6日
- 世界最大のガ ― ヨナクニサンー 平成4年9月8日～10月4日
- 海辺の植物 ― ツワブキー 平成4年10月6日～11月15日
- 太古の魚たち 平成4年11月17日～平成5年1月17日
- 身近な冬鳥たち 平成5年1月19日～3月7日
- よみがえったポッピー号 平成5年1月29日～3月7日
- 子育ての袋をもつ仲間たち 平成5年3月9日～5月5日

(2) 歴史・民俗展示室 (515㎡)

<狩猟から農耕へ>

- 縄文時代の遺物（土器、石器、骨角器）と生活の解説展示。
- 弥生時代の遺物（青銅器、土器、石器）及び文化交流などの解説展示。

<古墳とその時代>

- 古郡家1号墳をはじめとする古墳の一括資料の解説展示。
- 本県で出土した須恵器の分類展示。
- 重要文化財伯耆長瀬高浜遺跡出土はにわ等本県で出土した代表的なはにわの展示。
- 銅鏡、各種玉類、武具、馬具などの展示。
- 梶山古墳彩色壁画のカラー写真パネルと出土遺物の展示。

<奈良・平安の因伯>

- 古廃寺出土の軒丸瓦、仏足、瓦経などの展示。
- 伯耆国分寺跡出土の風鐸の展示。
- 経筒等経塚出土品の展示。
- 国宝三徳山三仏寺投入堂模型（10分の1）。
- 因幡国庁出土の墨書土器緑釉陶器等の展示。
- 平城宮出土の木簡（レプリカ）の展示。
- 伊福部徳足比売骨蔵器（レプリカ）の展示。
- 時範記（複製）等の展示。
- 国宝・伯耆一宮経塚出土の経筒（レプリカ）の展示。

<戦乱の時代>

- 因伯の荘園と武士団の分布図及び伯耆国河村郡東郷庄下地中分図（模写）の展示。

- 中世遺跡出土、鰐口、青磁小壺、白磁五輪花皿、青磁香炉、青磁盤の展示。
- 新興寺文書及び伝名和長年像の展示。
- 布施天神山城出土の陶磁器片の展示。
- 梵鐘二口（廃阿代寺、国英神社）印賀宝篋印塔（レプリカ）の展示。

<土農工商の社会>

- 鳥取城模型、鳥取城下図（模写）、鳥取城瓦など鳥取城関係の展示。
- 池田光仲肖像・書画をはじめ鳥取池田家の解説展示。
- 大山寺領総図（模写）・大山牛馬市図など江戸時代の大山寺の解説展示。
- 検地帳や宗門改帳、町奉行日記や町年寄日記など江戸時代の農村と都市について展示。
- 鳥取藩の藩札と近世の貨幣などの展示。

<因州藩から鳥取県へ>

- 最後の藩主池田慶徳、初代県令河田景与の肖像写真パネルの展示。
- 藩から県に移行する時期の行政の日記の展示。

<生活の中の道具>

- 江戸時代末期から明治時代にかけて分布した広間型農家の一部を復元し、生活用具を配して展示。
- 稲作農具を稲作作業の進行にしたがって展示。
- 本県の漁業について、漁具、漁船模型、海女関係民具などを展示。
- 日用品、交易、化粧、食器その他の日用品の分類展示。
- 行器（ほかい）、婚礼に使用された各種のつものたるなどの展示。

<伝え継ぐ心>

- 年中行事、県内の代表的な民俗行事を季節により写真と資料によって解説展示。
- 人形芝居、きりん獅子、郷土玩具などの芸能娯楽用具を解説展示。
- とんどう、双盤念仏、綱引き、亥の子などの民俗行事をVTRによって紹介。

<歴史の窓>

- 発掘された若桜鬼ヶ城 平成4年4月1日～5月31日
- 池田慶徳の書 平成4年6月2日～8月2日
- 駕籠 平成4年8月4日～11月29日
- 鳥取県内出土の輸入陶磁 平成4年12月1日～平成5年1月31日
- 旧鳥取藩士山田家資料 平成5年2月4日～4月4日

(3) 美術展示室 (260㎡)

- 平安時代から室町時代の国・県指定の仏像・仏画を展示。
- 江戸時代の鳥取藩絵師等の掛軸・屏風及び本県出身作家の作品を展示。
- 本県出身の彫刻家の作品をロビー等に展示。

主な展示資料 (○印は保護文化財)

<仏像・仏画等>

- | | | | |
|-------------|----------|------------|----------|
| ○大日如来坐像（木造） | 若桜町永福寺蔵 | ○木造狛犬 | 三朝町湯谷地区蔵 |
| ○木喰稻荷像（木造） | 倉吉市円谷地区蔵 | 蔵王権現立像（木造） | 岩美町観照院蔵 |

涅槃図	鳥取市興禅寺蔵	毘沙門天立像(木造)	個人蔵
真言八祖図	智頭町豊乗寺蔵	○釈迦十六善神図	用瀬町大安興寺蔵
十二天図	智頭町豊乗寺蔵	○両界曼陀羅図	智頭町豊乗寺蔵

<工芸>

備前焼壺	個人蔵	懸仏	個人蔵
○染織布	鹿野町譲伝寺蔵	染の型紙	個人蔵
○擬宝珠(二口)	関金町地藏院蔵	白磁四耳壺	個人蔵
○飾太刀拵	鳥取市禰谿神社蔵	漆芸品	当館蔵
因久山焼	当館蔵		

<近世絵画>

○雲龍図(双幅)	土方稻嶺	個人蔵	楼閣山水図	根本幽蛾	個人蔵
芦間潜鯉図	〃	当館蔵	琴棋書画図	〃	〃
花鳥図	〃	〃	女酒宴図	〃	〃
滝に鳩図	〃	個人蔵	四季花鳥図	小畑稻升	〃
猿鹿図	〃	当館蔵	鯉魚之図	〃	当館蔵
虎之図	〃	個人蔵	関羽・張飛図	片山楊谷	〃
山水花鳥図	〃	当館蔵	芳野山春景図	沖探容	個人蔵
雲龍図	黒田稻臯	〃	富士見西行図	〃	〃
遊鯉図	〃	〃	蓮池舟遊図屏風	狩野益信	〃
牡丹小禽図	〃	個人蔵	舞妓図	沖一蛾	当館蔵
東海道中図屏風	島田元旦	〃	宇治川先陣図	〃	個人蔵
花鳥図	〃	当館蔵	山水図	建部撲斎	当館蔵
青緑山水図	〃	個人蔵			
楊貴妃図	〃	〃			
秋景山水図	〃	〃			
雪中山水図	〃	〃			

<近代彫刻>

つどい	長谷川塊記	当館蔵	非化Q	辻晋堂	個人蔵
裸	早川巍一郎	〃	寒山	〃	〃
寒拾	辻晋堂	個人蔵	拾得	〃	当館蔵
鶏と女	〃	当館蔵			

(4) 近代美術展示室 (374㎡)

ア 近代洋画の流れ ～人物そして裸婦～

会期 平成4年4月25日(土)～5月17日(日)

前田寛治の「人物と裸婦」の作品を中心に、伊谷賢蔵、中井金三、安岡信義らの鳥取県関係の洋画家の「人物と裸婦」を展示・紹介した。

<出品目録>

番号	作者	作品名	製作年	大きさ(タテ・ヨコ)センチ	材質
1	藤井禎三郎	佛	1908年	33.5×25.0	油彩・ボールキャンバス
2	久米 福衛	少年	1915年	80.5×61.0	油彩・キャンバス
3	安岡 信義	少年像	1909年	33.5×23.5	油彩・板
4	〃	男の像	1920年	33.5×23.5	油彩・板
5	〃	裸婦習作	1920年頃	90.9×72.7	油彩・キャンバス
6	中井 金三	浴衣の女	炬昧~囃囃	80.5×61.0	油彩・キャンバス
7	笹鹿 彪	室内にて	1925年	116.7×80.3	油彩・キャンバス
8	〃	少女	1938年頃	117.0×91.0	油彩・キャンバス
9	松田 晃八	自画像	炬昧~囃囃	42.0×33.0	油彩・紙
10	浜田 重雄	自画像	1922年	65.1×53.0	油彩・キャンバス
11	〃	襟巻きした女	1929年	53.0×45.5	油彩・キャンバス
12	〃	青年像	1929年	90.9×72.7	油彩・キャンバス
13	〃	婦人像	1929年	90.9×72.7	油彩・キャンバス
14	川上 貞夫	T子像	1929年	91.0×73.0	油彩・キャンバス
15	伊谷 賢蔵	室内裸婦	1949年	193.9×130.3	油彩・キャンバス
16	〃	クスコの朝市	1968年	130.3×91.0	油彩・キャンバス
17	尾崎悌之助	人間無情	1965年	114.0×145.0	油彩・キャンバス
18	国頭繁次郎	十字架より降ろすキリスト	1955年	162.0×130.0	油彩・板
19	〃	石の顔	1962年	70.5×63.0	油彩・キャンバス
20	前田 寛治	花と子供等	1921年	80.5×117.5	油彩・キャンバス
21	〃	立てる子供	1922年	117.0×80.5	油彩・キャンバス
22	〃	裸婦	1925年	99.7×72.5	油彩・キャンバス
23	〃	彫刻家の肖像	1925年	117.0×80.0	油彩・キャンバス
24	〃	物を喰う男	1924年	116.7×91.0	油彩・キャンバス
25	〃	繃帯をした男	1925年頃	73.0×50.0	油彩・キャンバス
26	〃	椅子にかける裸婦	1927年	53.5×41.0	油彩・キャンバス
27	〃	着物の婦人像	1927年	91.0×73.0	油彩・キャンバス
28	〃	白い服の少女	1928年	73.0×60.0	油彩・キャンバス
29	〃	横臥裸婦	1928年	97.0×162.0	油彩・キャンバス
30	〃	伏臥裸婦	1928年	113.0×146.0	油彩・キャンバス
31	〃	棟梁の家族	1928年	131.0×162.5	油彩・キャンバス
32	〃	少女と子供	1927年	145.5×112.0	油彩・キャンバス
33	〃	ブルターニュの女	1925年	166.0×101.0	油彩・キャンバス
34~51	〃	素描	1925~25年		

※ 個人蔵の22、23、26、27、33以外は鳥取県立博物館所蔵作品

イ 新しく収蔵した美術作品

会 期 平成4年5月30日(土)~6月14日(日)

県立博物館で昨年度新しく収蔵した前田寛治の素描、辻晉堂の木彫、現在県内外で活躍中の作家の絵画、彫刻、工芸作品を展示・紹介した。

<出品目録>

番号	作者・作品名	制作年	大きさ(センチ)	材質
1	前田寛治(1896~1930年) 「少女」など 素描65点	1923~25年		鉛筆・紙
2	辻 晉 堂(1910~1981年) 「鶏と女」 「婦人像」	1943年 1943年	H175.0×37.0×39.5 H129.0×47.0×66.5	木 木
3	山本兼文(1918~1992年) 「石会」 「壺と凹」	1977年 1989年	H105.0×60.0×45.0 H86.0×140.0×40.0	石 石
4	斎鹿逸郎(1928年~) 「Untitled Continuous File-1984」 「Untitled Continuous File-1986(II)」 「Untitled Continuous File-1986(I)」 「Untitled Continuous File-1991」	1984年 1986年 1986年 1991年	H122.0×W364.0 H181.5×W545.5 H166.5×W219.5 H181.0×W543.0	鉛筆・和紙 鉛筆・和紙 鉛筆・和紙 鉛筆・和紙
5	瀬戸 浩(1941年~) 「白結晶釉銀ストライプ五角板皿」 「白結晶釉銀波紋板皿」 「薄茶釉銀ストライプ大壺」 「雲のシリーズ '91」	1990年 1990年 1991年 1991年	小皿 径19.0・中皿 径33.5 小皿 径24.8・中47.5・大67.5 H58.0×W61.0×D34.0 小 H17.0×W15.0×D6.0 大 H38.0×W38.0×D15.0	陶器(7枚組) 陶器(11枚組) 陶器 陶器(12組)
6	前田昭博(1954年~) 「白瓷面取壺」 「青白瓷鑄鉢」	1991年 1991年	高38.1・径35.3 高27.7・径18.2	陶器 陶器
7	藤原晴彦(1954年~) 「DAY-DREAM(Z)」 「DAY-DREAM '91-7(Blue)」	1991年 1991年	H130.0×W162.0 H162.0×W227.0	アクリル・綿 アクリル・綿

ウ 現代の異才・田中寒楼

会 期 平成5年1月5日(火)~1月31日(日)

「ホトトギス」に優れた俳句を発表したり、独自の哲学的文章「寒楼語録」を書き残し、多くの人に影響を与えた田中寒楼の人と作品について紹介した。

<展示内容>

- 俳句や書 …… ホトトギスに発表された初期の俳句をパネルで展示し、その後に詠まれた俳句などの色紙や短冊に軸と屏風に揮毫された書などを紹介。
- 絵画作品 …… 戦後の新しい絵画表現に興味を抱いた寒楼が水性絵の具で気ままに描いた作品を紹介。
- 寒楼語録 …… 西田哲学に影響を受けた寒楼が、森羅万象を個性的に捉えた文章を紹介。
- 風貌写真 …… 放浪の生涯を送った自由人寒楼を写真家塩谷定好氏が撮影した作品で紹介。

2 特 別 展

(1) まつり・獅子と龍

会 期 平成4年7月24日(金)～8月23日(日)
 会 場 第1展示室、第2展示室、第3展示室
 主 催 鳥取県教育委員会、鳥取県立博物館
 後 援 鳥取県各市町村教育委員会
 入館料 一般 600円(500円)、高校生 400円(300円)、小・中学生 200円(150円)

※()は団体料金

日本や東アジアとその周辺の地域で“まつり”に登場する獅子や龍を展示・紹介するとともに、麒麟獅子や龍が登場する鳥取県の“まつり”の現代的意義を考えてみる機会とした。

<関連行事>

ア 特別講演会(1)

期 日 平成4年7月25日(土)
 演 題 日本のまつりにみられる獅子と龍
 講 師 京都市歴史資料館長 山路興造氏

イ 特別講演会(2)

期 日 平成4年8月8日(土)
 演 題 東アジアにおける獅子と龍の世界
 講 師 国立民族学博物館助教授 大塚和義氏

ウ 人文講座

期 日 平成4年8月2日(日)
 テーマ 因幡の獅子と伯耆の龍

<出品目録>

※点数の()は内数

資 料 名	点数	所 蔵 者
“まつり”へのいざない		
・ドラゴンボール・シェンロン(模型)	1	リコー鳥取グループ
・宇倍神社の麒麟獅子舞	2	宇倍神社
麒麟獅子	(1)	
猩々	(1)	
I 舞う獅子		
1 ライオンの生息地と獅子の文化		
・ライオン(剥製)	1	国立科学博物館
2 “まつり”に登場する世界の獅子舞		
(1) ヒンドゥー系の獅子舞		
・インドの獅子舞		
チョウの仮面	10	国立民族学博物館
(セライケラのチョウ)		
シンハ	(1)	

ドゥルガー	(1)	
モヒシャー斯拉	(1)	
ガネーシャ	(1)	
(プルリアのチョウ)		
シンハ	(2)	
ドゥルガー	(1)	
ガネーシャ	(1)	
ラクシュミー	(1)	
モヒシャー斯拉	(1)	
• スリランカの獅子舞		
コーラムの仮面	5	国立民族学博物館
シンハヤ	(2)	
ヒョウ	(1)	
王	(1)	
王妃	(1)	
• ブータン・チベットの獅子舞		
チベットのチャム仮面	5	国立民族学博物館
獅子	(1)	
鹿	(2)	
忿怒面	(2)	
• ネパールの獅子舞		
舞踏の仮面	2	国立民族学博物館
マハカリ	(1)	
マハラクシュミ	(1)	
(2) 中国系の獅子舞		
• 中国の獅子舞	4	国立民族学博物館
北派獅子	(2)	
南派獅子	(2)	
• 韓国の獅子舞	10	国立民族学博物館
鳳山仮面劇の獅子	(1)	
山台仮面劇の仮面	(9)	
• インドネシアの獅子舞	9	国立民族学博物館
バロン	(1)	
ランダ	(1)	
ランダの弟子	(1)	
ガムラン	(6)	
3 “まつり” に登場する日本の獅子舞		
(1) “二人立ち” の獅子舞		
• 信西古楽囃	1	日本芸術文化振興会

・石垣島白保の獅子舞	2	高橋 裕一
(a) 祭礼のお練りに登場する獅子舞		
・蜷城の獅子	2	福岡県立甘木歴史資料館
・琴路神社の獅子舞	4	琴路神社
獅子	(2)	
剣突き	(2)	
(b) 神楽に登場する獅子舞		
・伊勢大神楽の獅子	1	山本源太夫
・水戸大神楽の獅子舞	2	日本芸術文化振興会
柳貴家大神楽の獅子舞	(1)	
宝来家大神楽の獅子	(1)	
・二階番楽の獅子	1	高橋 裕一
(2) “一人立ち”の獅子舞		
(a) 三匹獅子舞		
・三田原の籠獅子舞	9	社総代 中村 高雄
籠獅子	(3)	
花 笠	(2)	
天狗面ほか	(4)	
・大森厳正寺水止舞	5	大田区立郷土博物館
獅子〔複製〕	(3)	
花 笠〔複製〕	(2)	
・八幡崎の獅子踊り	4	高橋 裕一
獅子	(3)	
道 化	(1)	
(b) 鹿 踊 り		
・北上地方の鹿踊りの鹿	1	国立民族学博物館
・大槌上京の鹿踊りの鹿	1	高橋 裕一
4 獅子頭のいろいろ		
・志賀海神社の獅子頭	1	志賀海神社
・馬田の獅子頭	2	福岡県立甘木歴史資料館
・野田の獅子頭	3	野田獅子舞保存会
・両神村小森の獅子頭	3	埼玉県立民俗文化センター
・南河原の獅子頭	3	川崎市市民ミュージアム
・東井神社の麒麟獅子頭	1	東井神社
5 “まつり”に登場する鳥取の獅子舞		
・聖神社の麒麟獅子舞	2	聖神社獅子舞保存会
麒麟獅子	(1)	
猩 々	(1)	
・権現祭時代行列絵巻	1	樗谿神社

・大湯棚の麒麟獅子頭	1	大湯棚獅子保存会
・岡益の麒麟獅子頭	1	国府町岡益地区
・岩坪神社の神楽獅子	1	岩坪神社獅子舞保存会
II 踊る獅子		
1 “まつり” に登場する世界の龍		
・北京の龍舞の龍	1	国立民族学博物館
・スリランカのコーラムの蛇 ナーガ（蛇）仮面他	8	国立民族学博物館
2 “まつり” に登場する日本の龍		
・長崎の龍踊りの龍	1	長崎滑石龍踊保存会
・金龍山浅草寺の金龍之舞の龍	1	浅草寺・浅草寺舞保存会
・出雲神楽・石見神楽の大蛇	5	
見々久神楽の大蛇	(1)	出雲見々久神楽保持者会
許曾志神社の神楽の大蛇	(1)	許曾志神社
石見神楽の大蛇	(1)	浜田市職員石見神楽同好会
大元神楽の大蛇	(1)	市山公民館
・安行原の蛇まつりの大蛇	1	埼玉県立博物館
・春日若宮おん祭の龍蓋・蘭陵王	2	春日大社
龍 蓋	(1)	
蘭陵王	(1)	
3 “まつり” に登場する鳥取の龍		
・申し上げまつりの大蛇	1	当 館
・荒神神楽の大蛇	1	荒神神楽保存会菖風社
III 新しいまつり		
1 “まつり” と地域社会		
・まつりのポスター	15	県内各観光協会等提供
2 “まつり” と観光		
・まつりのポスター	30	県外各観光協会・J R鳥取 駅等提供

(2) 近代の日本画・京都の画家たち

会 期 平成4年10月9日(金)～11月8日(日)

会 場 第1展示室、第2展示室、第3展示室

主 催 鳥取県教育委員会、鳥取県立博物館

後 援 鳥取県各市町村教育委員会

入館料 一般 800円(600円)、高校生 500円(400円)、小・中学生 300円(200円)

※()は団体料金

近代の日本画のあゆみの中で、永い歴史と伝統のうえに、さらに新しい世界を創造した京都の画家たちをとりあげ、近代日本画の創造のあゆみを紹介した。

<関連行事>

特別講演会

期 日 平成4年10月17日(土)

演 題 京都の画家たち

講 師 京都国立近代美術館主任研究員 島田 康 寛 氏

<出品目録>

番号	作家名	作 品 名	制作年	品 質	形 状	大きさ(タテ×ヨコ)	所 有 者
1	森 寛斎	富士観瀑図	明治24年(1891)	絹本着色	軸 装	128.0×42.0	
2	田能村直入	幽溪小亭図	明治38年(1905)	絹本着色	軸 装	130.0×43.0	
3	岸 竹堂	虎 図	明治24年(1891)	絹本着色	軸 装	153.9×71.6	滋賀県立近代美術館
4	"	月下吼狼図	明治年間	絹本墨画淡彩	軸 装	131.2×51.2	滋賀県立近代美術館
5	富岡 鉄斎	西園雅集図	明治22年(1889)	絹本着色	軸 装	164.5×86.0	
6	"	竹窓聽雨図	70歳代	紙本墨画	軸 装	181.0×114.2	清荒神 清澄寺
7	"	武陵桃源図	大正12年(1923)	絹本着色	軸 装	155.5×43.0	清荒神 清澄寺
8	幸野 棹嶺	鳴戸山水図	明治19年(1886)	絹本着色	軸 装	44.5×83.3	滋賀県立近代美術館
9	今尾 景年	芦水禽図	明治年間	絹本着色	軸 装	135.8×168.2	滋賀県立近代美術館
10	菊池 芳文	春の夢	明治36年(1903)	絹本着色	八曲一雙屏風	158.5×485.0	京都市美術館
11	谷口 香嶠	残月山姥	明治40年(1907)	絹本着色	軸 装	187.5×112.3	京都 清水寺
12	竹内 栖鳳	驟雨帰農	大正年間	絹本着色	軸 装	115.0×36.5	
13	"	驟雨一過	昭和10年(1935)	紙本墨画淡彩	軸 装	194.0×91.5	京都市美術館
14	"	雄 風	昭和15年(1940)	絹本着色	二曲一雙屏風	各170.0×188.0	京都市美術館
15	都路 華香	良 夜	明治45年(1912)	紙本墨画淡彩	軸 装	178.3×77.7	京都国立近代美術館
16	"	東茨里の朝・萬年台の夕	大正9年(1920)	紙本着色	軸装 双幅	各198.0×90.5	京都市美術館
17	山元 春举	山村盛夏図	大正10年代	絹本着色	軸 装	138.0×51.0	滋賀県立近代美術館
18	"	富士二題	昭和4年(1929)	絹本着色	軸装 双幅	各188.7×99.2	滋賀県立近代美術館
19	上村 松園	秋の粧	昭和11年(1936)	絹本着色	軸 装	162.0×57.0	西宮市大谷記念美術館
20	"	夕 暮	昭和16年(1941)	絹本着色	額 装	215.0×99.0	京都府立鴨沂高等学校
21	木島 桜谷	行路難	大正11年(1922)	絹本着色	二曲一雙屏風	各170.0×185.0	京都国立近代美術館
22	西村 五雲	園裡即興	昭和13年(1938)	絹本着色	額 装	98.5×118.0	京都市美術館
23	西山 翠嶂	秣	大正9年(1920)	絹本着色	軸 装	204.5×129.5	京都国立近代美術館
24	"	槿 花	大正12年(1923)	絹本着色	軸 装	129.0×85.0	京都市美術館

番号	作家名	作品名	制作年	品質	形状	大きさ(タテ×ヨコ)	所有者
25	菊池 契月	少女	昭和7年(1932)	絹本著色	額装	220.5×145.0	京都市美術館
26	"	早苗図	昭和9年(1934)	紙本著色	軸装	158.1×75.3	滋賀県立近代美術館
27	富田 溪仙	列仙	大正9年(1920)	紙本著色	二曲一双屏風	各71.5×73.5	滋賀県立近代美術館
28	川村 曼舟	霧氷	昭和11年(1936)	絹本著色	額装	124.0×147.0	京都市美術館
29	橋本 関雪	後赤壁図	大正4年(1915)	絹本著色	六曲一双屏風	各133.0×336.5	西宮市大谷記念美術館
30	土田 麦倦	平牀	昭和8年(1933)	絹本著色	額装	153.0×209.0	京都市美術館
31	榊原 紫峰	獅子	昭和2年(1927)	絹本著色	二曲一隻屏風	170.0×366.0	京都市美術館
32	入江 波光	彼岸	大正9年(1920)	絹本著色	三曲一隻屏風	181.0×224.0	京都市美術館
33	"	風浪漁舟	昭和14年(1939)	紙本墨画	軸装	39.0×59.0	京都国立近代美術館
34	村上 華岳	阿弥陀之図	大正5年(1916)	絹本著色	額装	209.4×131.0	京都市美術館
35	"	墨牡丹之図	昭和5年(1930)頃	絹本墨画	軸装	35.4×42.0	京都国立近代美術館
36	野長瀬 晚花	島の女	大正5年(1916)	紙本著色	軸装	145.3×51.7	和歌山県立近代美術館
37	"	スペインの田舎の子供	大正13年(1924)	寒冷紗本著色	二曲一隻屏風	110.0×136.0	和歌山県立近代美術館
38	小野 竹喬	五箇山	大正8年(1919)頃	絹本著色	額装	70.5×81.5	笠岡市立竹喬美術館
39	"	新秋	昭和23年(1948)	絹本著色	額装	115.0×92.0	笠岡市立竹喬美術館
40	堂本 印象	或る家族	昭和24年(1949)	紙本著色	額装	130.0×160.0	京都府立堂本印象美術館
41	"	無間知覚	昭和35年(1960)	紙本著色	額装	160.0×130.0	京都府立堂本印象美術館
42	福田平八郎	花菖蒲図	昭和9年(1934)	紙本著色	額装	145.×82.8	京都国立近代美術館
43	"	花の習作	昭和36年(1961)	紙本著色	額装	122.6×100.0	京都国立近代美術館
44	金島 桂華	牡丹	昭和23年(1948)	紙本著色	二曲一双屏風	各163.0×171.0	広島県立美術館
45	池田 遥邨	江州日吉神社	昭和12年(1937)	絹本著色	二曲一隻屏風	140.0×91.5	滋賀県立近代美術館
46	徳岡 神泉	芋図	昭和18年(1943)	絹本著色	額装	87.5×116.0	東京国立近代美術館
47	"	鯉	昭和25年(1950)	紙本著色	額装	130.0×118.0	東京国立近代美術館
48	宇田 荻邨	祇園の雨	昭和28年(1953)	絹本著色	額装	99.0×115.0	三重県立美術館
49	"	雪の嵐山	昭和36年(1961)	紙本著色	額装	71.0×92.5	三重県立美術館
50	山口 華揚	白い馬	昭和27年(1952)	紙本著色	額装	177.0×122.0	日本芸術院
51	小松 均	夏山	昭和32年(1957)	紙本著色	額装	215.0×163.0	京都市美術館

3 催 物 展

(1) 身近な鳥・珍しい鳥

会 期 平成4年5月2日(土)～5月17日(日)

会 場 第1展示室

愛鳥週間にちなんで、鳥類の剥製を中心に、身近な鳥や珍しい鳥の姿や生態について展示・紹介した。

<主な展示資料>

- ・鳥類化石、剥製 …… 約140点
- ・写真パネル …… 約60点
- ・卵標本、巣標本、など

(2) 池田光仲展

会 期 平成4年7月1日(水)～7月12日(日)

会 場 第3展示室

鳥取藩の基礎を築いた池田光仲の遺品や関係資料を展示し、その人物像と彼の生きた江戸時代前期の鳥取の姿について紹介した。

<出品目録>

【鳥取池田家前史】		19 池田光政書状(池田光仲あて)	当館蔵
1 池田恒利肖像画	当館蔵	20 池田光政書状(池田光仲あて)	〃
2 池田信輝(恒興)肖像画	〃	21 寛永9年侍帳	〃
3 池田輝政肖像画	〃	22 家老連署知行方目録	〃
4 池田輝政書状	〃	23 寛永10年地詰帳	〃
5 良正院書状	〃	24 池田光政・池田輝興連署状	〃
6 池田忠継肖像画	〃	25 元大工町絵図(寛永年間・元禄12年)	
7 池田忠雄肖像画	〃		森田吉次郎氏蔵
8 池田忠雄書状(加藤式部あて)	〃	26 徳川家綱領知判物(池田光仲あて)	当館蔵
9 池田忠雄書状(池田備中守あて)	〃	27 池田光仲領知判物	〃
【池田光仲の肖像と書】		28 因府録	樗谿神社蔵
10 池田光仲肖像画	当館蔵	29 因府年表	当館蔵
11 池田光仲肖像画(沖一峨筆)	〃	30 御家中御法度	〃
12 池田光仲筆 竹図	〃	町方御法度	
13 池田光仲筆 大摩利支天	〃	在方御法度	
14 池田光仲筆 和歌懐紙	〃	31 東照宮額	樗谿神社蔵
15 池田光仲筆 和歌色紙	〃	32 池田光仲奉納飾太刀 三振	〃
16 池田光仲竹図他合装	〃	33 池田光仲奉納甲冑	〃
17 芳心院書状	〃	34 東照宮太鼓	〃
【池田光仲の治績】		35 御宮御菩提所御祈禱所 御宮大雲院	
18 池田光政肖像画	当館蔵		当館蔵

36	東照宮勸請之記写	当館蔵	【池田光仲の子孫】		
37	東照宮祭礼絵巻	樗谿神社蔵	50	池田綱清肖像画	当館蔵
38	鳥取城下之図 慶安以前	当館蔵	51	池田吉泰肖像画	〃
39	面 十面	樗谿神社蔵	52	池田宗泰肖像画	〃
40	隠元禅師肖像画	当館蔵	53	池田重寛肖像画	〃
41	提宗和尚肖像画	興禅寺蔵	54	池田治道肖像画	〃
42	提宗和尚筆揚柳観音図画賛	〃	55	池田斉邦肖像画	〃
43	活禅和尚筆 玉向泥中潔	道寧寺蔵	56	池田斉稷肖像画	〃
44	活禅和尚筆 松径雪後貞	〃	57	池田斉訓肖像画	〃
45	釈迦涅槃図	興禅寺蔵	58	池田慶行肖像画	〃
46	鳥府志 旧龍峰寺の図	樗谿神社蔵	59	池田慶栄肖像画	〃
47	池田綱清書状(池田仲澄あて)	当館蔵	60	池田慶徳肖像写真	〃
48	御隠居御分知御礼帳	〃	61	奥谷菩提所之図	〃
49	鳥府志 両御館之図	樗谿神社蔵			

(3) 第35回日本伝統工芸中国支部展

会 期 平成4年7月2日(木)～7月8日(水)

会 場 第1展示室

日本工芸会中国支部の会員及び一般応募者の伝統工芸作品(陶芸、染織、木工芸、漆芸等) 105点を展示した。

(4) 海岸地域の自然とくらし

会 期 平成4年11月19日(木)～12月13日(日)

会 場 第3展示室

鳥取県の変化に富んだ海岸や砂丘の仕組みと自然の様子、そこに生活する人々の営みについて展示・紹介した。

<主な展示資料>

- ・タカラタツ、キサゴなど岩礁の魚貝類
- ・ツワブキ、ハマゴウなど海辺の植物
- ・アカウミガメ、カイダコなど回遊する動物
- ・海女の使用する道具など漁業関係資料

(5) 安富コレクション展Ⅰ -江戸時代の絵画-

会 期 平成5年2月13日(土)～3月7日(日)

会 場 第3展示室

故安富寛兵衛氏(鹿野町)が収集された近世絵画や考古資料など数多くの資料を県立博物館に寄贈していただいたが、コレクションの中から鳥取藩絵師を中心とする江戸時代の絵画を展示・紹介した。

<出品目録>

番号	作家名	作 品 名	番号	作家名	作 品 名
1	土方 稲嶺	猛 虎 図	23	建部 撲斎	帰 牛 図
2	〃	関 羽 図	24	正 埴 適処	芳山暁靄
3	〃	麝香花下悠々之図 双幅	25	〃	耶馬溪図(卷子装)
4	〃	山陰雪夜図	26	牧野 芝石	四季花卉図
5	〃	狗 子 図	27	青木 図南	砧 図
6	〃	風雪三顧図	28	塔 然	萬歳楽図
7	〃	林和靖図 三幅対	29	[不 明]	三美人小松引図
8	〃	遊 鯉 図	30	沖 探容	因幡八景図(帖装)
9	〃	雪中梅華図	31	沖 一峨	建部元勲図 三幅対
10	黒田 稲臯	稚童遊戯図	32	〃	龍 虎 図 双幅
11	〃	群鯉図 県指定保護文化財	33	〃	官 女 図
12	小畑 稲升	米法遊鯉図	34	沖 九臯	竹 虎 図
13	〃	梅花百鳥双鯉図	35	根本 幽峨	淡青緑山水図
14	片山 楊谷	花王獣王図	36	〃	幾田右門像
15	〃	菊慈童図	37	〃	琴棋書画図 三幅対
16	〃	東方朔図 三幅対	38	〃	武 者 図(帖装)
17	〃	孔子十哲図			
18	〃	関羽・張飛図 双幅	39	仏 画	真言八祖図のうち 不 空
19	島田 元旦	醉李白図		〃	〃 一 行
20	〃	菊に小犬図		〃	〃 恵 果
21	〃	青緑山水図		〃	〃 空 海
22	〃	仙境雅会図			

4 教育普及活動

(1) 巡回展

展示テーマ	会 期	会 場	入場者数
地球の歴史と生物の進化	4. 5. 10 ~ 4. 5. 24	岸本町中央公民館	1,415 ^人
	4. 8. 6 ~ 4. 8. 20	河原町中央公民館	650
古文書が語る郷土の歴史	4. 10. 31 ~ 4. 11. 5	中山町中央公民館	550
	4. 11. 28 ~ 4. 12. 6	気高町瑞穂地区 研修センター	352
県立博物館所蔵 美術作品展	4. 6. 19 ~ 4. 6. 23	会見町公民館	273
	4. 6. 26 ~ 4. 6. 30	江府町山村開発センター	310
計			3,550

(2) 天体観望会・見学会

事業名	期 日	場 所	参加人員
春の星を見る会	4. 4. 25	前 庭	35 ^人
野鳥の声を聞く会	4. 5. 10	鳥取市	71
夏の星を見る会(1)	4. 7. 25	前 庭	45
地質見学会	4. 8. 9	鳥取市・気高町	22
夏の星を見る会(2)	4. 8. 22	前 庭	35
キノコを調べる会	4. 10. 18	国 府 町	46
歴史と民俗を訪ねる会	4. 10. 25	大 栄 町	9
計			263

(3) 講演会

演 題	講 師	期 日	参加人員
社会の中での民芸	寿岳章子氏	4. 4. 26	240 ^人
日本のまつりにみられる 獅子と龍	京都市歴史資料館長 山路興造氏	4. 7. 25	92
東アジアにおける 獅子と龍の世界	国立民族学博物館 助 教 授 大塚和義氏	4. 8. 8	63
京都の画家たち	京都国立近代美術館 主任研究官 島田康寛氏	4. 10. 17	40
計			465

(4) 講 座

事 業 名	期 日	参加人員
美術講座 列品解説 -郷土の近代洋画-	4. 5. 9	32 ^人
“ 列品解説 -新しく収蔵した美術作品-	4. 5. 30	15
人文講座 池田光仲とその時代	4. 7. 4	120
自然講座 海そう標本の作り方	4. 7. 31	38
“ 昆虫標本の作り方	4. 8. 1	22
人文講座 因幡の獅子と伯耆の龍	4. 8. 2	20
自然講座 標本を調べる会	4. 8. 26	173
郷土史講座 江戸時代の絵図と地域	4. 11. 14	30
美術講座 田中寒楼の作品	5. 1. 23	80
“ 安富コレクションの絵画	5. 2. 20	128
計		658

(5) 資料の貸出

品 名	数量	規格・銘柄	貸付期間	貸出し先	貸付けの目的
イ タ ヤ ガ イ 他	35		4. 7.20 ～ 4. 8. 5	(株)米子天満屋取締役店 長	大恐竜博
鳥 類 剥 製	25		4.11.19 ～ 4.11.27	江府町教育委員会教育 長	鳥 展
「砂 丘」他	3	柄田晃八作	4. 4.16 ～ 4. 5.24	広島県立美術館他	中国地方の風景 画展
「西洋婦人像」	1	前田寛治作	4. 4. 2 ～ 4. 8. 5	北海道立近代美術館他	日本のリアリズム 1920S～50S
「少女と子供」	1	前田寛治作	4.10.15 ～ 5. 4.10	愛知県美術館	フォーヴィズム と日本近代洋画
「日本赤十字社 徽章之図」	1	遠藤 董作	4. 9.16 ～ 4.10.31	鳥取県立図書館	遠藤董顕彰展
「日 華」	1	柴山抱海作	5. 3. 2 ～ 5. 5. 7	青谷町教育委員会	柴山抱海展
荒木保明家譜他	2		4. 3.26 ～ 4. 5.10	日本芸術文化振興会	文楽の魅力展
鶴田憲弥氏愛用の 8ミリカメラ他	26		4. 7.30 ～ 5. 1.31	鳥取市文化センター	郷土の民俗学者 たち展
みそおけ製作工程他	23		4.11.23 ～ 4.11.30	鳥取県通商観光課	鳥取県郷土工芸 名品展
合 計	118				

5 調査研究活動

(1) 調査研究

分野	事項
地学	鳥取砂丘の風紋についての調査
動物	鳥取市湖山池の魚類についての調査 水中生活する哺乳類についての調査研究
植物	福部村清内谷のキノコ類についての調査
考古	鳥取県内出土の朝鮮製陶器についての調査研究
民俗	鳥取県の民俗芸能についての調査
美術	鳥取県ゆかりの作家及び作品についての調査研究 近代工芸作家及び作品についての調査

(2) 研究報告等の刊行

刊行物の名称	発行時期	発行部数	規格	ページ数
郷土と博物館 第38巻	4年9月 5年3月	1,000 ^部	A 5	32 ^{ページ}
研究報告 第30号	5年3月	500	B 5	46
所蔵資料目録 第42号 ジダ植物目録 岩永標本Ⅱ	5年3月	500	A 5	34
資料調査報告書 第20集 ～旧河原町山手区有文書～	5年3月	300	B 5	22
鳥取県の民俗芸能 －鳥取県民俗芸能緊急調査報告書－	5年3月	300	B 5	242
鳥取県立博物館 この10年	5年3月	500	B 5	74
博物館年報 No. 20	5年3月	400	B 5	50
博物館だより No. 57～60	4・7・10・1月	2,500	B 5	4